

佐々木指月 ささきさき 詩人、隨筆家。明治十五年二月十日香川縣生れ、昭和十九年一月十七日歿（八二—一九四四）。本名榮多。東京美術學校彫刻選科卒。明治二十九年禪の師釋尊活心隨從としてアメリカに渡る。爾來數度の歸國と、戰時下の監禁中病死するまで滞米。この間窪田空木徳等の歌誌『國民文學』に詩を、雜誌『中央公論』等に隨筆を寄稿。

著書『米國を放浪して』（大正十年七月、二十日日本評論社出版部）、

『亞米利加夜話』（大正十一年一月十日日本評論社出版部）、児童

『遙遠集』（合著・大畑匡山編著、大正十一年六月五日岡村書店）、『き

らば日本よ』（大正十一年九月一日博多成象堂）、『女難文化の國か

ら』（昭和二年二月五日騷人社）、『弗の女肖像』（昭和二年五月十

五日騷人社書局）等。

